

シンポジウム・研究発表会

「役割・キャラクター・言語」

2009年3月28日(土)～29日(日)

神戸大学百年記念館 (参加費無料)

〒651-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 Tel 078-803-5294

役割語、最前線。

『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』で世に出た「役割語」は、定延らの「音声言語における発話キャラクタ」の研究をも受け、さらに研究の新段階へと進むとともに、教育、創作、メディア論等への影響も広がり始めた。このシンポジウムでは、論客・呉智英氏の基調講演を得て、役割語・発話キャラクタ研究最前線を示すと共に、その行方について討議を交していく。

プログラム

28日(土)

第1部 10:30～

研究発表(1)

東雅人・伊藤怜菜・井村紗緒里・三好敏子(以上、大阪大学文学部)・金旻貞
(大阪大学大学院文学研究科)「役割語演習報告」

依田恵美(大阪大学大学院文学研究科)「役割語としての片言日本語」

岡崎友子(就実大学人文学部准教授)・南侑里(就実大学人文学部)「役割語
としての「幼児語」とその周辺」

第2部 13:00～

基調講演(1) 呉 智英(評論家・日本マンガ学会会長)
「マンガと類型化—役割語などを巡って—」

基調講演(2) 金水 敏(大阪大学大学院文学研究科)「役割・キャラクター・
言語をめぐる」

シンポジウム「メディア・教育と役割語・発話キャラクタ」金水 敏(司会)、
阿藤智恵(劇作家・演出家)、太田真希恵(NHK放送文化研究所研究員)、
恩塚千代(日本語教育)、鄭惠先(長崎外国語大学外国語学部准教授)、
本浜秀彦(沖縄キリスト教学院大学准教授)

29日(日)

第3部 10:00～

研究発表(2)・ポスターセッション

金田純平(神戸大学国際文化学部特命助教)「役割語からみた文末詞対照」(仮題)
金水 敏・池田貴子(大阪大学大学院文学研究科)「ピジン日本語と中国人像の
変遷」

ポスターセッション

第4部 13:00～

研究発表(3)

細川裕史(学習院大学・日本学術振興会特別研究員-PD)「ドイツ語に『役割語』
は存在しうるのか？」

西田隆政(甲南女子大学文学部教授)「役割語としてのツンデレ表現—「常用性」
の有無に着目して—」

富樫純一(大東文化大学文学部専任講師)「ツンデレ属性と言語表現の関係—
ツンデレ表現ケーススタディー」

定延利之「キャラクタは文法をどこまで変えるか？」

コメント 杉藤美代子(音声言語研究所所長)、藤村靖(オハイオ州立大学名誉
教授)

イベント・サイト：<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~kinsui/char-sympo-2009.htm>

主催：科学研究費補助金 基盤研究(B)「役割語の理論的基盤に関する総合的研究」(課題番号：19320060、研究代表者：金水 敏)(<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~kinsui/yakuwarigo.htm>)

科学研究費 基盤研究(A)「人物像に応じた音声文法」(課題番号：19202013、研究代表者：定延利之)(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/products/nihongo/character/index.html>)

連携：神戸大学大学院教育改革支援プログラム「文化情報リテラシーを駆使する専門家の養成」(<http://cil.cla.kobe-u.ac.jp/>)

*どなたでも参加していただけますが、電子メールによる事前登録をお願いします。char_sympo_2009@yahooogroups.jp までお問い合わせください。